

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



し ら た か

広報

8.12
AUG 2008
NO.998

最上川・五百川峡谷シンポジウム開催②

子育て支援住宅を整備します④

第18期白鷹町農業委員会委員のみなさん⑥

デマンドタクシーが走り出しました⑧

第3次行財政改革～3年目の成果～⑩



稲荷ヶ丘町民プールで最後の町民水泳大会 - トビウオのように (第45回白鷹町小中学校及び町民水泳大会)

7月29日、白鷹町小中学校及び町民水泳大会が開催されました。この稲荷ヶ丘町民プールでの大会は今回が最後。その有終の美を飾るように、今大会ではたくさんの新記録が出されました。プールサイドで応援する子どもたちの声も、いつも増して迫力を感じました。いくつものすばらしい記録、そして選手を生み出した稲荷ヶ丘町民プール、これまで本当にありがとうございました。(14、15ページに今大会の結果を掲載しました)

最上川・五百川峡谷シンポジウム

7月27日／朝日町「創遊館」

「最上川」をさらに深く知りたくなりました

「最上川」のことをもっと広く教えたいと思いました

7月27日、朝日町の創遊館で、最上川中流にある五百川峡谷の観光振興を目指す「最上川・五百川峡谷シンポジウム」が開かれました。最上川沿いに隣接する白鷹、朝日、大江の3町が連携し、5月に設立した広域観光推進協議会などが主催しました。3町連携の初の事業で、地域住民、関係者など約200人が参加しました。

基調講演では、阿部和久さんが「最上川の文化的景観」の世界遺産指定に向けた取り組みの視点から説明。また、梅津保一さんは最上川舟運の文化を中心に、古来からの流域の資源を紹介しました。

その後、参加者が3組に分かれ、最上川沿いの観光地などを視察。フットパスを歩きながら、五百川峡谷の歴史、自然に触れ、共に語り合いました。パネルディスカッションも行われ、五百川峡谷の魅力の掘り起こしの一歩を踏み出しました。



基調講演1 「最上川の文化的景観」世界遺産をめざして

山形県教育庁文化遺産課 課長 阿部和久さん

日本にある世界遺産、暫定リスト記載資産の実例を挙げながら、「最上川の文化的景観」が世界遺産になる意義を説明しました。



阿部さんは「文化的景観とは、自然と人間が共につくりあげた作品である。砂防林一つを見ても、人びとの並々ならぬ苦労が見え、それだけでも十分に文化的価値のあるもの。最上川流域は、たくさんさんの資産で構成されている」と指摘。また「子どもたちにも最上川の価値の再発見をしてもらい、後世に引き継いでいくことが夢。それが県土への愛着や誇りをはぐくむ」と話しました。

基調講演2 「最上川舟運と五百川峡谷」

山形史学研究会 副会長 梅津保一さん

人びとの生活様式や信仰の在り方などから舟運文化とのかかわりを説明。五百川峡谷の歴史の一端をひもときました。梅津さんは「地域資源を掘り



起こし、磨き、発信していくことが大切である」と強調。また「地域おこしで大事なキーワードは『3しよくひるね』。それは『本物であり、それを生み出す職人の技、それらに触れる体験だ。また、地元の食や宿屋を組み合わせてルート化し、そこに住む人びとがお客さまに対し心からおもてなしを行うこと』が大切である」と話しました。

土木学会選奨土木遺産の明鏡橋。美しいアーチを川面に映す。



パネルディスカッション
 五百川峡谷の未来と観光
 最上川資源を生かした観光交流戦略
 各パネラーの意見より

○奥山龍雄さん／

最上川の文化的景観を軸としたまちづくり推進会議会長

最上川はわたしたちの原風景。人間の内なるものに豊かさを求める時代になった。現代社会がこの地域に豊富にある資源を求めている。観光という視点で言えば、そこに住む人びとが持つ価値観を観光客に伝えることが大事である。それには地域に愛着を持つことが求められる。

今、地域の推進会議が発足し、最上川とその周辺の風景を徹底的に掘り起こそうと一丸となっている。

○石川博資さん／大江町観光ボランティアの会長

最上川の開削は先人の汗と涙の結晶。その功績は計り知れない。何もないとは思っていても歩いてみるとわかる地域の価値や物語がある。舟運を見ても川とのかかわりは大きく、川から受けた恩恵は大きい。町を歩いて知ること、それが理解することになり、愛することにつながる。

美しい川を守り、清流としての最上川をつくるということが力になり、世界遺産指定に向けた活力となるだろう。

○長岡信悦さん／

NPO朝日町エコミュージアム協会理事長

朝日町は、「おらほの最上川学」を通して、五百川峡谷や最上川水運などについて深く掘り下げてきた。明鏡橋などの文化資産、花火大会やいかだ下りなど、川に親しむ機会も多くある。今後は、3町にまたがる峡谷として広くとらえ、地域の遺産を伝えていきたい。

○阿部和久さん／山形県教育庁文化遺産課長

自分の町の財産を知り、人に伝えるという動きはもう始まっている。それが誇りにつながっていく。「世界遺産」指定後に起こる問題など、そのときにどう対処するかを今のうちから考えていくべきである。

もう使われなくなったもの、地域に埋もれているものを再発見し、さらに個別の売り出しではなく、隣の地域をお勧めするなど連帯意識が観光では求められる。

○奥村聡子さん／山形県観光振興課観光推進員

地域の人びとが地域を愛しているというのが実感で、観光の面でいう素材を見つける「掘り起こし」段階では問題ない。次の段階の「磨き上げ」では、訪れるお客さまの側に立って物事を考え、人を動かすことが必要。特に文化という目に見えないものを伝えるには、ストーリーを伝える人材が必要で、そのプロを育てることも求められる。

最上川は、市町村の境とは関係なく流れている。3町が連携していくことの大切さに気づいたことはすばらしいことで、これからはお互いの町を知ることが大切になる。



白鷹コース

現地ワークショップ

朝日コース

▶過去に盛んだった鮎漁を観光やナとして復元・復活。



▲下山の舟場跡。全盛期には舟商人でにぎわった。



▲日本の棚田百選認定の樺平。扇状の斜面に棚田が広がる。



▶黒滝跡を見ながら、フットパスを歩く。



▲朝日奈三郎が朝日岳から投げたという伝説の残るつづて石。



▼カヌーランドは愛好家に親しまれている。

▲国指定重要文化財の佐竹家住宅。

▶最上川ビューポイントからの眺めは壮観。

▶剣先不動尊。最上川開削と航行の安全を願って鯉口を奉納した。





まもなく着工となる子育て支援住宅の完成予定図（平成21年4月入居開始予定）

安らぎのある町、子どもたちがすくすく育つ町

「子育て支援住宅」を整備します

白鷹町では、安心して生み育てやすい環境をつくるため、

子育て世帯に良質な住宅の提供に向けた取り組みを始めます。

若者の定住こそ、地域の力

白鷹町は、少子高齢化社会が進むとともに、多くの若者が町外へ流出している現状があります。流出の要因はさまざまですが、町の活性化には地域で暮らす若者の力が大きいことは言うまでもありません。若者の定住を進めるには、次代を担う子育て世帯が、安心して生み育てることができ、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めることが必要です。

いよいよ整備開始

入居は来年4月から

平成14年3月策定の「白鷹町住宅マスタープラン」では、若者の定住を目的にした公営住宅の整備を計画しました。

その後「子育て支援住宅整備計画」を策定し、「子育て支援住宅」の着工に向けて検討してきました。計画戸数を全24戸とし、今年度から整備を進めます。まず、平成20、21年度で12戸を予定し、そのうち6戸は平成21年4月の入居開始を目指しています。

この子育て支援住宅は期限付き入居となっており、お子さんが小学校を卒業するまで（その年の3月31日まで）入居することができます。町外のかたも入居できます。詳しい募集時期や条件は、追って広報しらたかななどでお知らせします。

安全で安心な、子どもも大人もいきいきとした生活空間を目指し、整備を進めます。



◀子育て支援住宅の区画整備予想図（鳥瞰図）

▼子育て支援住宅整備予定地位置図



■施設名称

「子育て支援住宅」

■場所

山形県西置賜郡白鷹町大字
鮎貝仮換地25街区

■延床面積

75〜80㎡/戸

■施設概要

○木造平屋建 2LDK

○オール電化

○計画戸数 24戸

○駐車スペース 2台/戸



もっともっと住みよくなる
この街に住みませんか。

四季の美しい暮らしを描く街。

白鷹ニュータウン「四季の郷」 現地見学会開催

8/15(金)～16(土)
開催時間 午前10時～午後4時



9月末日までに
分譲宅地ご成約のかたに
商品券20万円相当
プレゼント

- 定住** 駅が近いから通勤や通学に便利
- 文化** さまざまな文化施設が充実
- 子育て** 子育てに絶好の環境を整備

メーカー宅地分譲15区画／一般宅地分譲36区画

販売価格410万円台より

- 敷地面積 274㎡(82.9坪)～1,334㎡(403.5坪)
- 坪単価 43,000円～

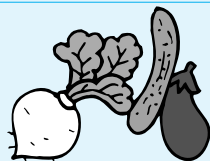
宅地購入者ご紹介キャンペーン開催中！

宅地購入を希望しているお知り合いのかたに白鷹ニュータウン「四季の郷」をご紹介いただくと、もれなくすてきなプレゼントを差しあげます。また、ご成約された場合はさらに謝礼を差しあげます。

- 対象保留地 組合の指定する保留地
- 謝礼内訳 保留地代金の2%

宅地購入をご予定で、 家庭菜園に興味があるかた！

地元農家がお手伝いします。
組合事務所までぜひご相談
ください。



白鷹町鮎貝土地区画整理組合

〒992-0771 白鷹町大字鮎貝2523
☎0238-85-3119
ホームページ <http://www.shirataka.jp/ayukai/>
Eメール ayukumi-t@shirataka.jp

“子育て支援住宅”

名前を付けてください

子育て支援住宅の入居開始に向け、安心して生み育てやすい環境づくりを進めるため、若い世帯の笑い声が絶えず聞こえるような、より親しんでいただける愛称を募集します。以下の募集要項により、どしどしご応募ください。

【愛称募集要項】

- ◆審査基準 子どもが健やかに成長できる住環境にふさわしい、親しみやすく、また覚えやすい愛称であることとします。
- ◆応募資格 どなたでも参加できます。
- ◆応募方法
 - ① 郵送、またはFAX、電子メールでの応募とします。
 - ② 一人2点までとします。
 - ③ 愛称(ふりがな)と簡単な愛称の説明、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業を記入してください。
- ◆表彰など
 - ① 採用作品1点1万円相当の品を差しあげます。
 - ② 採用作品に複数応募があった場合は、抽選で1人に決定します。
 - ③ 応募者全員の中から5人に、10000円分の商品券を差しあげます。
- ◆審査方法 応募作品(愛称)を愛称選考委員会で選考し決定します。
- ◆募集期間 8月18日(月)～9月30日(火) (必着)
- ◆発表 選考結果は白鷹町ホームページ、広報しらたかなどで発表します。
- ◆その他
 - ① 採用作品に関する諸権利は白鷹町に帰属するものとなります。
 - ② 応募作品は返却しません。
 - ③ 作品は自作で未発表のものとなります。



▲子育て支援住宅の室内の完成予定図

■応募先

- 郵送：〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833 白鷹町建設水道課内愛称募集事務局
- FAX番号：0238-85-2509
- Eメール：kensetu@so.town.shirataka.yamagata.jp
- 問い合わせ
 - 愛称募集関係 建設水道課 (☎85-6140)
 - 工事関係 まちづくり推進課 (☎85-6110)

農業を取り巻く環境は刻々と変化し、年々厳しさを増しています。そのなかで、農業委員のみなさんには、わが町の農業振興とまちづくりのために、地域農業のリーダー役を担っていただきます。任期は平成23年7月19日までの3年間です。



会 長
沼澤 儀三郎
中山／公選

いま、生活していく中で、食の大切さ、農業の大事さを痛感しているところです。農業を取り巻く環境が厳しいなか、農業委員の立場で何をすべきかを追究し、日々の活動を展開してまいります。町民皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



新野 信之
広野／公選

食料自給率は40%を下回るなど、いま、日本の農業は危機的な状況におかれています。農業が日本の安全保障に重要な役割を果たす必要性が求められ、早急な対策が必要となっております。情熱と責任感を持ってがんばります。



会長職務代理
樋口 秀一
深山／公選

農業を取り巻く環境がますます厳しくなっています。農業委員として、白鷹の農業、地域の農業をどのように守っていくのか、何をすべきかを考え、さまざまな課題に取り組みでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



高橋 弘寿
横田尻／公選

農業情勢の厳しいなか、農業委員の職務に就き、責務の重さを深く感じているところがあります。新人委員であります。地域農業が持続的に発展し、次世代の農業後継者が育つよう、委員の皆さんと共に考え取り組んでいきたいと思えます。



小林 昭義
畔藤／公選

近い将来に食糧危機が危惧されているなか、地域を維持し、いまある資源の有効利用で食料が確保できる農業となるように、また、農業で生計が成り立つ方策の模索に努力したいと思っております。よろしくお願いいたします。



小口 英夫
箕和田／公選

白鷹町振興実施計画が策定されたなか、私達が営む大地を守り、農産物の販売戦略等も含めた広い視野を持つ若い農業起業者が育つ農業となるように、微力ながらも農業委員を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



衣袋 由紀子
畔藤／議会選任

このたび、町議会より農業委員にご推薦いただき就任することになりました。これからひとつひとつが勉強となりますが、皆様にご指導いただきながら、農業委員の責任を果たすべく努力してまいります。と思えます。



石川 敏子
鮎貝／議会選任

このたび、町議会よりご推薦いただき農業委員を務めさせていただきますことになりました。昨今の農業情勢の厳しさは、皆様ご承知のとおりです。微力ながらも、女性の立場から何かお手伝いできればと思えます。



小形 義男
浅立／公選

農業委員の重責を担わせていただき責務の重さを深く認識しております。資材高騰、減反強化等、農業環境は厳しいものがありますが、地域の農地を守り、若い人が引き継いでいける地域づくりに努めていきたいと思えます。

明日の白鷹町農業を拓く

第18期白鷹町農業委員会委員のみなさんです

(敬称略・右から議席順)

 <p>中川 剛 山口／公選</p>	<p>このたび、農業委員を務めさせていただくこととなり、責務の重大さを認識しているところです。</p> <p>農業情勢の厳しいなか、農業経営の安定、また、農業環境の保全に、皆さんと共に取り組んでいきたいと思っております。</p>
 <p>大滝 権一 高岡／農協選任</p>	<p>農業情勢の厳しいなか、このたび農業委員に就任することとなり、責務の重要性を深く認識しております。</p> <p>より良い農地の活用ができるよう、そして、一人でも多くの若者が活躍できる町になるよう努力していきたいと思っております。</p>
 <p>相模 敏浩 横田尻／土地改良区選任</p>	<p>いま、このような情勢のなか、農業経済も厳しさを増しています。増加する耕作放棄地の解消を図って大切な農地を守り、農村環境の維持、そして、住みよい地域づくりに貢献したいと思っております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
 <p>海老名 幸男 十王／共済組合選任</p>	<p>「豊かな白鷹の大地を未来へつないでいきたい！」厳しい時代だからこそ強く感じます。</p> <p>農業委員として、さまざまな課題に真摯に取り組み、地域農業の活性化に努力していきたいと思っております。</p>

地域の足として

デマンドタクシーが

走りだしました!!

8月は
無料運行
します



玄関先までお迎えにあがります。
通院や買い物など、ご利用をお待ちしています。



8月から、新しい公共交通サービスとして「デマンドタクシー」がスタートしました。今年度は蚕桑、鮎貝エリアを中心に走り、平成21年4月からは町内全域を運行する予定です。8月中は利用者のかたに慣れていただくために無料運行しています。皆様のご利用をお待ちしています。

8月1日朝、出発式が朝日観光タクシーの本社前で行われました。橋本町長、船山町議会議長、小口区長会長、目黒朝日観光タクシー社長が事業開始を祝いテープカット。その後、運転手のかたに鮎貝小学校2年生の佐藤里穂さんから安全な運行を祈って花束が手渡され、第1便が出発しました。

★運行日

月曜から金曜の週5日(土日祝日、年末年始は運休)

★利用料金

1回あたり500円(未就学児は無料)

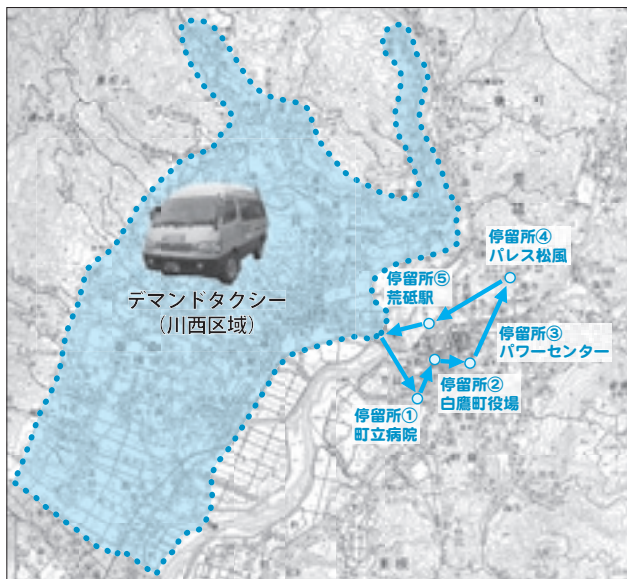
*8月中は無料運行

★時刻表

午前	午後
午前 8 時便	午後 1 時便
午前 9 時便	午後 2 時便
午前 10 時便	午後 3 時便
午前 11 時便	計 7 便

*時刻は、デマンドタクシーが出発する目安です。複数のかたとの乗り合いとなりますので、予約状況によって待ち時間や到着時間が変わります。時間には十分余裕を持ってご利用ください。

★デマンドタクシー運行エリア



- (1) 蚕桑・鮎貝地区内はどこでも乗り降りできます。
- (2) 荒砥方面に行く場合は、①町立病院→②町役場→③パワーセンター→④パレス松風→⑤荒砥駅が停留所となります。
- (3) 帰る場合も、上記①～⑤の場所からご乗車いただけます。
- (4) 荒砥、十王、鷹山、東根地区にお住まいのかたでも、上記①～⑤間の移動や①～⑤から川西エリアに行くこともできます。

★利用者登録

デマンドタクシーの利用にあたっては利用者登録が必要になります。登録は役場総務政策課へ。

★利用方法はいろいろです

- ・自宅から町立病院までの送迎に
- ・役場への用足しや買い物に
- ・パレス松風へ行ってゆっくり温泉に

★ご予約は 予約センター

☎85-0365へ

【受付時間】平日午前8時～午後4時まで
*土日祝日は受け付けておりませんので、月曜日の予約は前の週の金曜日までお願いします。

【問い合わせ・利用者登録】
総務政策課 政策企画係
☎85-6123

児童福祉の制度・手当を紹介します

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、精神または身体に障がいのある児童の福祉増進のために支給されます。

●特別児童扶養手当を受給できるかた

20歳未満で精神または身体に障がいのある児童を養育している父母または養育者

*次の場合は、対象になりません。

- ・対象児童が児童福祉施設などに入所している場合
- ・養育者の所得が一定額以上の場合など

●支給内容

4月、8月、11月の3期に分けて支給します。

障害等級	1級	2級
手当の月額	57,750円	33,800円

●所得制限限度額について

扶養親族等の数	本人の所得制限	配偶者・扶養義務者の所得制限
0人	459万6千円	628万7千円
1人	497万6千円	653万6千円
2人	535万6千円	674万9千円

*扶養親族の数が3人以上のときは、1人につき38万円を加えた額になります。

●所得状況届の提出をお忘れなく

手当を受給しているかたは、毎年8月11日から9月10日までの間に、所得状況届の提出が必要になります。

所得状況届の提出がないと、8月分以降の手当を受けられません。忘れずに提出ください。



詳しい手続き、ご相談は、
健康福祉課子育て支援係
(☎86-0212)
にお問い合わせください。

児童扶養手当

児童扶養手当は、父の死亡、父母の離婚などによる生活の激変を和らげ、母子家庭の自立を促すことを目的に支給されます。

●児童扶養手当を受給できるかた

18歳に達する年度末（心身に障がいがある児童は20歳未満）までの児童を養育している母子家庭の母または養育者

*次の場合は、対象になりません。

- ・養育者の所得が一定額以上の場合
- ・養育者、対象児童が公的な年金を受けられる場合
- ・対象児童が、児童福祉施設などに入所している場合など

●支給内容

4月、8月、12月の3期に分けて支給します。

児童の数	全部支給のとき	一部支給のとき
1人目	41,720円	41,710～ 9,850円
2人目	5,000円を加算	
3人目以降	3,000円を加算	

●所得制限限度額について

扶養親族等の数	本人の所得制限		配偶者・扶養義務者の所得制限
	全部支給	一部支給	
0人	19万円未満	192万円未満	236万円未満
1人	57万円未満	230万円未満	274万円未満
2人	95万円未満	268万円未満	312万円未満

*扶養親族の数が3人以上のときは、1人につき38万円を加えた額になります。

●平成20年4月以降の児童扶養手当について

平成20年4月から、手当を受けてから5年を経過したかた（8歳未満の児童を監護するかたを除く）は、手当額が2分の1に減額されます。該当するかたに届書を送付しますので忘れずに届出ください。

*次の場合は、対象になりません。

- ・あなたが働いているか、求職活動をしている場合
- ・あなたが身体上または精神上の障害がある場合
- ・あなたが病気やケガで働くことができない場合
- ・あなたが子どもや親族を介護しなければならないため働くことができない場合

●現況届の提出をお忘れなく

手当を受給しているかたは、毎年8月中に現況届の提出が必要になります。

現況届の提出がないと、8月分以降の手当を受けられません。忘れずに提出ください。

電子自治体の推進

- 県、各市町村連携による電子申請・届出システム（給与支払報告〈総括表〉、公的年金等支払報告〈総括表〉、戸籍の附票の写し交付申請、住民票の写し交付申請）を稼動しました。

財政及び公営企業の健全化

- 町税収入の確保
【口座振替加入促進制度により、口座振替件数が前年度対比687件増加】
- 遊休資産の処分
【柏原団地跡地、鮎貝赤土地内、法定外公共物の処分】
- 議員定数見直し
【18人→14人〈平成19年5月から実施〉】
- 人件費の抑制
【退職勧奨6人、職員給料削減の実施、町長20%、副町長12%、教育長6%給料削減】
- 物件費、旅費、補助金、負担金の縮減と新たな需要への対応
- 水道事業への繰出金の抑制

公営企業等の経営健全化

- 病院事業
→心エコー（超音波診断装置）・アルゴンプラズマ手術装置・人口呼吸器・血液ガスシステム導入による医療水準の維持向上、レセプト電算システム

などの整備による医療事務の効率化、給与・財務状況の公表、466千円の黒字となりました。

- 下水道事業
→水洗化率80.3%、使用料収納率 現年度98.9%、過年度47.1%、給与・財務状況の公表
- 水道事業
→収納率 現年度98.0%、過年度54.9%、給与・財務状況の公表
- 土地開発公社
→鮎貝工業用地を処分、給与・財務状況の公表
- 第三セクター
→給与・財務状況の公表

町民の参画機会の拡充

- 地区座談会の開催
【蚕桑・鮎貝・荒砥・十王・鷹山・東根で開催】
- パブリックコメントの実施
【町民プール整備計画、白鷹町保育の将来ビジョン、白鷹町安全安心まちづくり条例】
- 女性委員登用率の拡大【女性委員登用率29.8%】
- 協働のまちづくりモデル事業
【山口、中山地区に導入（山口地区は平成18年度より継続）】

以上の取り組みの結果、

平成19年度で

総額 **2億8,900万円**

の効果額となりました。

◆第3次行財政改革大綱の進捗度

取り組むべき重点課題49項目のうち

計画どおり実施	計画どおりでないが概ね達成	計画どおりに進んでいない	未実施
30	18	1	0
61.2%	36.7%	2.0%	0.0%

*第3次行革の成果は、白鷹町ホームページの「行財政改革」コーナーにも掲載していますのでご覧ください。

問い合わせ
総務政策課 総務係
☎85-6120

第3次行財政改革

3年目の成果をお知らせします

町では平成17年度から平成21年度までを計画期間とした「第3次白鷹町行財政改革大綱」を策定し、徹底した行財政改革に取り組んでいます。その取り組みの第3年目となる平成19年度の主な内容と成果についてお知らせします。

組織機構の見直し

- 総務課と政策改革課を統合して「総務政策課」にしました。また、重要施策を円滑に進めるため「まちづくり推進課」を設置しました。

職員の定員管理

- 平成17年度に策定した「定員適正化計画」に基づき、職員数の削減を行いました。
【職員数は平成16年度比28人減の227人】

職員の資質向上

- 職員研修を積極的に行いました。
【町独自研修5件、受講者数175人、派遣研修50人】

事務事業の見直し

- 平成18年度施政方針に係る事務事業63事業を評価し、結果を公表しました。
- 環境マネジメント(ISO14001)は、認証取得後3

年を経過したことによる更新審査と職員研修を実施しました。

民営化・民間委託の推進

- 平成21年度から、よつば保育園の指定管理者制度による民間委託を行うことを決定しました。また「白鷹町保育の将来ビジョン」の答申を受け、町内の保育園のあり方、さらに川西地区の統合について検討しました。

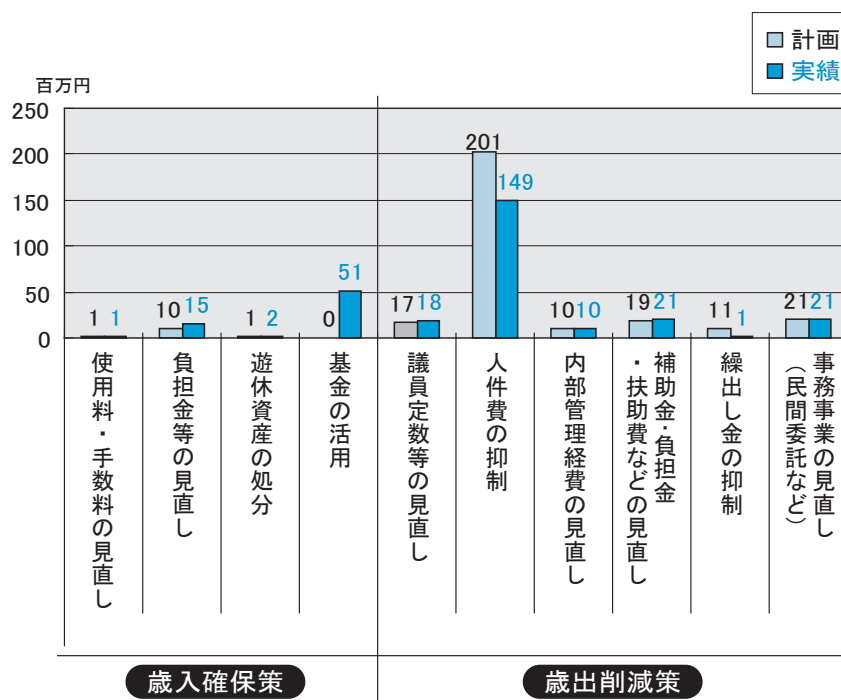
公共工事の見直し

- 協働のまちづくり事業により、9区で地域主体による事業を行いました。
- 入札予定価格130万円以上の事業について、入札予定を閲覧とホームページにより公表しました。
- 入札結果について、閲覧とホームページにより公表しました。

◆経費節減等の財政効果 (普通会計)

区分	歳入確保策	歳出削減策	合計
計画 (百万円)	12	279	291
実績 (百万円)	69	220	289
達成率	575.0%	78.9%	99.3%

◆各項目ごとの計画と実績額



暑い今年には花も大きく成長 第14回白鷹紅花まつり



7月12日、13日、白鷹紅花まつりが行われました。花と体験、芸能、味を楽しめる企画が満載で、県内外から多くのお客さまが来場しました。萩野大日堂では、背景にかやぶき屋根のお堂を入れ、可憐な黄色い花をカメラに納める人でにぎわいました。今年は染料となる紅もちの生産拡大を目指しました。それに伴う人手不足を補うため「花摘み猫の手隊」を実行委員会で募集し、連日花摘みに活躍いただきました。

希少な動植物の宝庫 粥餅田湿原の保全活動



7月5日、粥餅田湿原の保全活動が行われました。この湿原は、希少な動植物が生息する区域で、昭和57年に町の指定天然記念物となっています。しかし、葦の繁殖で湿地面が減少し、その存在が危ぶまれました。今回、町内のかたにご協力をいただき、葦刈りとその運び出しを実施。今後も湿原の保全活動に努めていくということです。身近にある貴重な生態系をわたしたちの手で、大切にしていきたいですね。

暑い白鷹の夏。(8月1日～3日) しらたかの音楽映画塾2008開催



8月初め、パワーセンターを主会場に、「しらたかの」が開催されました。今年も歴史探訪や映画入門など多彩な塾を手づくりで企画。3日には、浅立公民館で味噌造り塾が行われました。講師の鈴木徳則さんから指導を受け大豆と麴をこね、自分たちだけのみそ仕込みに挑戦しました。参加者は「初めての感触にドキドキした。できあがるのが楽しみ」と笑顔をこぼしていました。来年も帰ってきてください、白鷹へ。

音楽で通い合う学校への思い ガンバレ！荒砥高校コンサート



8月3日、地域の荒砥高校を応援しようというコンサートが同校体育館で行われました。しらたかの音楽映画塾の一環で、小室等さん、近藤房之助さんらプロのアーティストが演奏。一段と熱く感じられる歌声が会場に響きわたりました。また、荒砥高校応援団の応援歌、同校吹奏楽部の演奏が披露され、来場者の心を打ちました。生徒の日々の姿も知ることのできたコンサート。音楽を通じ気持ちを一つにした時間でした。

白鷹ライオンズクラブが ちよぼらの家に寄付

白鷹ライオンズクラブ(小関吉郎会長)から、福祉のために使っていたきたいとボランティア任意団体「ちよぼらの家」に対し善意が寄せられました。

ちよぼらの家は、平成16年5月に開設された宅老所で、お年寄りがいきいき、のんびりと過ごせるようにとサービスを提供しています。ボランティアの皆さんが、介助を必要としているかたへのデイサービスや楽しい時間を過ごしていただくための「ひだまりサロン」、家事のお手伝いなどを行っています。





7月8日、9日、こぐわ保育園の園児59人が、さくらバスに乗ってパレス松風までの区間を往復しました。7月末で休止となる町営バスを子どもたちの心の中に覚えてほしいとパレス松風が企画。森林公園を散歩したり、ソフトクリームをごちそうになったりしました。初めて乗った園児が多く、地域を走る桜色のバスに乗って少し興奮気味。最後はありがたいの気持ちで、さくらバスと記念写真を撮りました。

こぐわ保育園園児が町営バスにお別れ
ありがとう、さくらバス



8月2日、萩野地区でEM泥団子の投入作業が行われました。ロープに、泥団子とEM菌の作用を高める炭をつめた袋を交互に下げ、3つの沼に沈めました。また昨年投入した木箱の泥団子の入れ替えも実施。今後は投入前と投入後の水質を比べ、効果を確認する計画です。最上川浄化を最大の目標に掲げ、まずは地域の河川からきれいにしようという萩野地区の皆さん。わたしたちも身近な環境浄化から始めましょう。

蛭が飛び交うふるさとの川をめざして
萩野地区でEM泥団子を投入



平成8年度から12年間、地域の足として走り続けたさくらバスが、デマンドタクシーへの移行に伴い、その歴史に幕を下ろしました。7月31日午後5時57分、3人のお客さまを乗せた最終便がパレス松風前に到着。関係者によって拍手で迎えられました。終了式では、最終便の運転手となった高橋良一さんに花束が贈られました。これまで延べ11万6000人を運んでくれたさくらバス、本当にお疲れさまでした。

夕焼けを背に最後の運行
「お疲れさま」さくらバス終了式



7月6日、パワーセンターにおいて、介護者講演会が行われました。町と白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会が企画し、約200人が参加しました。昨年に引き続き川崎幸クリニック院長の杉山孝博さんから「続・認知症の理解と援助」の話をお聞きし、認知症の早期発見と早期受診の大切さ、認知症の症状の具体的な対応のしかた、一人暮らしの認知症の地域ケアなどについて理解を深めました。

みんなで認知症を理解し地域でケア
認知症講演会



今年は、産業振興課で職場体験学習を行っていた東中、西中の2年生4人も同行し、宣伝マンとして紅花まつりをPR。来場したお客さまに、プレゼントの切り花を笑顔で手渡していました。

7月8日、山形銀行本店で、白鷹紅花まつりをPR(宣伝)する展示会が行われました。毎年、まつり開催前の1週間行われており、山銀本店ロビーには、紅花の生け花やプラントアが並べられ、お客さまの目を楽しませました。

紅花の白鷹に来てください
山銀本店で
「白鷹紅花まつり展」



第45回白鷹町小中学校及び 町民水泳大会の結果

7月29日 稲荷ヶ丘町民プール

*各種目3位まで掲載。1'23"45=1分23秒45

*「新」は大会新記録

*「①新」はリレー第1泳者新記録で、氏名(学年・種目)を記載。

小学校・男子

順位	氏名	所属	タイム	備考
3年 50m バタフライ				
1	松岡伽威亜	荒砥	1'05"19	
2	鈴木 真道	東根	1'13"26	
3	海老名春来	鷹山	1'36"71	
3年 50m 自由形				
1	加藤 裕哉	蚕桑	50"17	
2	岡田 和真	東根	53"67	
3	新井 駿介	東根	54"89	
3年 50m 背泳ぎ				
1	加藤 裕哉	蚕桑	1'04"07	
2	橋本 涉	荒砥	1'05"47	
3	海老名 快	鷹山	1'08"32	
3年 50m 平泳ぎ				
1	新井 駿介	東根	1'05"05	
2	松岡伽威亜	荒砥	1'07"29	
3	岡田 和真	東根	1'13"39	
4年 50m バタフライ				
1	迎田 俊峰	東根	46"18	新
2	加藤 南斗	鷹山	1'00"54	
3	橋本 直弥	荒砥	1'02"28	
4年 50m 自由形				
1	鈴木 皓大	東根	44"51	
2	加藤 南斗	鷹山	46"77	
3	菊地 大雅	荒砥	47"82	
4年 50m 背泳ぎ				
1	鈴木 皓大	東根	48"19	
2	鈴木 智裕	東根	58"37	
3	高橋力樹也	東根	1'13"78	
4年 50m 平泳ぎ				
1	迎田 俊峰	東根	49"44	
2	鈴木 智裕	東根	57"39	
3	橋本 直弥	荒砥	1'00"40	
5年 50m バタフライ				
1	岡野 成	東根	51"57	
2	原田 航	鮎貝	57"94	
3	佐藤 宏樹	蚕桑	1'00"46	
5年 50m 自由形				
1	原田 航	鮎貝	44"58	
2	小関 駿平	荒砥	46"53	
3	小形 駿一	東根	48"66	

5年 50m 背泳ぎ				
1	青木 順一	東根	40"59	新
2	鈴木 優人	鮎貝	53"88	
3	大木 拓馬	東根	58"91	
5年 50m 平泳ぎ				
1	小形 瞭真	東根	49"83	
2	安部 航平	荒砥	50"66	
3	村上 魁人	東根	54"12	
5年 100m バタフライ				
1	紺野 蒼天	東根	1'23"03	新
5年 100m 自由形				
1	加藤 稜哉	蚕桑	1'19"76	新
2	小形 駿一	東根	1'45"49	
3	梅津 宏紀	東根	1'51"72	
5年 100m 背泳ぎ				
1	青木 順一	東根	1'26"01	新
5年 100m 平泳ぎ				
1	加藤 稜哉	蚕桑	1'44"96	
2	安部 航平	荒砥	1'49"44	
3	村上 魁人	東根	1'55"30	
5年 100m 個人メドレー				
1	紺野 蒼天	東根	1'21"96	新
2	小形 瞭真	東根	2'10"43	
6年 50m バタフライ				
1	吉村 昂訓	蚕桑	41"06	
2	高橋 駿也	東根	45"99	
3	高橋 和希	蚕桑	57"97	
6年 50m 自由形				
1	丸川 琢	荒砥	34"52	
2	吉村 昂訓	蚕桑	35"60	
3	山本 仰	荒砥	38"54	
6年 50m 背泳ぎ				
1	山本 仰	荒砥	52"40	
2	鹿野 裕太	荒砥	56"49	
3	菊地 聖人	東根	1'01"45	
6年 50m 平泳ぎ				
1	長谷部祥太	鮎貝	47"86	
2	大滝 知己	荒砥	49"02	
3	蹄 祐太	荒砥	49"56	
6年 100m バタフライ				
1	橋本 陽貴	東根	2'25"06	
6年 100m 自由形				
1	丸川 琢	荒砥	1'18"25	
2	金子 大輔	鮎貝	1'25"86	
3	小形 晃平	東根	1'30"84	

6年 100m 背泳ぎ				
1	菊地 聖人	東根	2'16"25	
6年 100m 平泳ぎ				
1	川田 匠	鮎貝	1'51"38	
2	菅間 辰芳	東根	1'57"65	
3	海老名 涼	鷹山	2'00"75	
6年 100m 個人メドレー				
1	齋藤 航平	鮎貝	3'03"17	
200m メドレーリレー				
1	東根小学校		2'42"58	
	[青木 順一(小5・背)]		39"48	①新
2	荒砥小学校		2'58"21	
3	蚕桑小学校		3'02"98	
	[加藤 稜哉(小5・背)]		43"32	①新
200m フリーリレー				
1	東根小学校		2'23"30	
	[紺野 蒼天(小5・自)]		33"39	①新
2	荒砥小学校		2'36"36	
3	蚕桑小学校		2'37"44	

小学校・女子

順位	氏名	所属	タイム	備考
3年 50m 自由形				
1	新野 菜見	鮎貝	53"21	
2	東海林奈子	荒砥	55"97	
3	安部 美聡	東根	56"08	
3年 50m 背泳ぎ				
1	菅原 麻鈴	荒砥	1'04"02	
2	新野 菜見	鮎貝	1'07"80	
3	紺野百合子	荒砥	1'14"28	
3年 50m 平泳ぎ				
1	丸川真由子	蚕桑	1'08"14	
4年 50m バタフライ				
1	菊地 遥	東根	46"25	
2	児玉 晴菜	蚕桑	1'19"45	
4年 50m 自由形				
1	土屋 楓子	鮎貝	35"70	新
2	芳賀佑里乃	鮎貝	48"71	
3	横山れのん	荒砥	51"63	
4年 50m 背泳ぎ				
1	土屋 楓子	鮎貝	41"34	新
2	芳賀佑里乃	鮎貝	56"53	
3	鈴木 里実	蚕桑	1'13"49	

◎元気いっぱい子どもの健康づくり～おいしく食べて元気に育つ

とふ フッ素塗布を受けたことがある（3歳児）

計画策定時

現状(平成19年度)

目標(平成22年度)

90.0%

97.3%

100.0%

※フッ素塗布とは、むし歯予防のためにフッ素を歯に塗ることです。
 ※計画策定時の割合は平成14年度健診実績を基に算出しました。
 ※歯の健康を守るために、再石灰化促進作用のあるフッ素の活用を進めています。

白鷹町健康増進計画

元気ニコニコ
しらたか21

中間評価

3歳児歯科健診の状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
受診児数(人)	130	142	133	120	111
むし歯のある者(人)	59	70	20	42	44
むし歯の保有率(%)	45.4	49.3	15	35	39.6
フッ素塗布経験あり(人)	126	136	121	112	108
フッ素塗布経験あり(%)	96.9	95.8	91	93.3	97.3



目標達成まで、もう一步!

フッ素の効用

むし歯予防先進国で、むし歯が減ったのは「フッ素を利用したから」と答えます。

フッ素の3大効用

- ①酸に溶けにくい強い丈夫な歯をつくる
- ②むし歯の原因菌のはたらきを抑える
- ③むし歯になりかけた歯の表面をもとに戻す



目標達成に向けての取り組み

町では、1歳6カ月、2歳6カ月、3歳児の歯科健診を実施しており、1歳6カ月、2歳6カ月では「フッ素塗布事業」も実施しています。歯科保健は、両親学級・9カ月健診でも健康教育を実施し、う歯(むし歯)予防の早期対応とブラッシングの習慣化を重点に事業を実施しています。元気ニコニコ推進会議では、食育グループを中心に歯科保健研修会を開催し、啓発に努めています。

健康のひろば

幼児期の歯磨きのワンポイント

～フッ素塗布の効果をアップするために～

- ①仕上げ磨きは大人が毎日してあげましょう。
- ②歯ブラシは2本用意しましょう(子ども用・仕上げ磨き用各1本ずつ)。
- ③食事の後や就寝前は必ず歯磨きを行いましょ。
- ④歯磨き・仕上げ磨きの後は笑顔でほめてください。泣いてしまっても決して怒ったりしないでください。「歯磨きしねど、注射してもらおうがらな」などとは絶対に言わないでください。
- ⑤規則正しい食事とおやつを心がけてください。

幼児期は歯磨きの習慣をつけるとても大切な時期です。「嫌がるからしない」などとやめてしまわず、ほめながら歯磨きの習慣を身につけさせていきましょう。

評価と今後の取り組み

1歳6カ月、2歳6カ月歯科健診でフッ素塗布事業を実施していることもあり、「塗布経験あり」の割合が高くなっています。目標達成までもう一步です。フッ素を健診に取り入れてから3歳児健診のむし歯保有率が50%を超えることはありません。むし歯保有率30%未満を目標としていますので、フッ素の効果をさらに上げるために、仕上げ磨きやブラッシングの習慣化、バランスのとれた食生活、早寝早起きの生活リズム確立などを進める必要があります。そのため、乳幼児(歯科)健診を充実し、地域で行われる親子教室や子育て支援センター遊び広場などと連携して、啓発活動を行います。

“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています!(元気ニコニコ推進会議)



ハエ? はい?

2歳A「あっ めんめいだ」
保育士「ハエだよ」
2歳A「はえ?」
保育士「そう、ハエ」
2歳B「はい!」
(右手を挙げて返事をしました)

いったい?

4歳男「ここいったぐした」
保育士「大丈夫だ」
4歳男「うん あとでガムテープ貼
っとぐ」

白鷹町認知症高齢者
見守りネットワーク
見守り
支え合い
お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します
介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センターTel.86-0112

●認知症の八大法則と一原則

一人ひとりの症状は違って見えても、認知症のお年寄りには共通の特徴があります。どうしてそのような症状を示すのかを理解することで、介護者の対応は格段に楽になるはずです。

○第三法則

自分にとって不利なことは認めない

だれでも自分に不利になるようなことを認めたくはないものですが、認知症の人の場合、自分の能力低下や記憶障害を認めたくないために、そうした傾向が甚だしくなることがあります。

失禁でぬれた床を指して確認する介護者に対して、「わたしが失禁するはずがない。孫か犬がやったんだらう」と見

え透いた言い訳をするなど、平然と嘘をつくといった態度がちです。しかし、これらは「自己有利の法則」によって、その場しのぎの態度であると理解することができません。

○名前を聞かれ、「もう何年も生きてきたので忘れてしまいましたよ」などと認知症状をさとられないようにとほける。○不都合なことを言い逃れようとする、など。

これらはすべてこの法則がはたらくからと考えられます。介護者が説教し、事実を認めさせようとするほど、認知症高齢者は自己を守ろうとして、矛盾した言動を重ねることになり、お互いの不信感が増すことになりかねません。

自己有利の法則を知っていれば、「盗まれた」と大騒ぎして捜していた物が、いつもしまっている場所で見つかったとしても、思い違いを責めたらずに「見つかってよかったね」というように、認知症のお年寄りが守ろうとしている自己を傷つけない形で対応することができます。

「町報川柳」 旅 菊地 克二選

佳作

旅日記めぐり思い出新たにし

旅の宿思わぬ人の芸に沸く

二度召され官費旅行と冷やかされ

旅の宿結び直した赤い糸

旅人の心を癒す故郷訛り

旅づかれやっぱり家がいいと言う

思い出の旅の写真で茶が弾み

旅立ちの朝はせつない親心

人生の旅路見守る母の愛

いづれ行く一人の旅に地図はない

黄泉の旅に忘れた妻の杖

悲しみを忘れる筈の独り旅

旅装まだ解けぬに土産ねだる孫

城めぐり時代を学ぶ歴史旅

旅先で畑の茄子に想い馳せ

土産を旅の土産にお裾分け

いにしへの自然に浸る癒し旅

苦も楽も呑んで人生旅つづく

おだやかに流れるような老いの旅

旅の宿湖畔の入り日美しく

観る旅も食う旅もあるいい時代

旅の恥土産話が一つ増え

ドラマ一つ終わり気楽な流れ旅

旅終えて悔い残さない後始末

ときめきを一緒に詰めた旅靴

身の丈に合った余生の旅続く

古都の旅遠いロマンを風に聞く

旅先で人の情けに触れている

携帯で旅の途中の波の音

鈴の音が夕陽に熔ける遍路旅

「収穫」八月末日まで。「包む」九月末日まで。

次回 「はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八―二

浅立 梅津たつ糸

浅立 小形 義三

山口 石川与次衛門

鮎貝 赤間 道雄

滝野 安達 昭吾

高玉 片山 時美

高玉 高橋 朝子

荒砥甲 井澤芙佐子

世田谷 遠藤 八重

畔藤 梅津 とも

畔藤 堀内 芳夫

荒砥乙 土谷 灯一

高玉 金田 灯一

滝野 海老名達夫

十王 平 恒人

十王 川部 隆雄

荒砥甲 志鎌はる糸

畔藤 鈴木みき子

畔藤 梅津 いと

横田尻 金田 れん

貝生 保科 努

鮎貝 高橋 正

荒砥乙 大滝 栄子

横須賀 大滝健次郎

高岡 長岡みち子

荒砥甲 横山 陽子

浅立 高橋 とみ

高岡 安部 柳子

山口 渡部喜美子

高橋 白兔 宛

情報 あらがると information!

インフォメーション

役場は ☎85-2111



●モンテディオ山形「白鷹町応援デー」▼いつ 9月14日(日)午後4時キックオフ
▼どこで NDソフトスタジアム山形(天童市)
●対戦カード モンテディオ山形VSサンフレッチェ広島
■問い合わせ スポーツ山形21(☎023166618882)

▼定員 25人

▼締め切り 9月12日(金)

*ただし、定員になりしだい締め切りとなります。

▼主催 史談会・教育委員会ほか

■申込・問い合わせ 教育委員会文化振興係/長澤(☎8516146)

元気ニコニコウォーキング

▼いつ 8月24日(日)

午前6時~8時

(午前5時45分集合)

▼集合場所 荒砥駅前広場

▼コース 荒砥・鮎貝周遊フットパスコース(荒砥駅~黒滝橋~荒砥橋~荒砥駅)

▼内容 早朝の澄んだ空気を胸いっぱい吸い込み、最上川の川面を眺めながらゆっくり歩きます。

*申し込みは不要。当日お集まりください。

▼次回開催予定 9月14日(日) 白川ダム湖畔コース

■問い合わせ 元気ニコニコ推進会議事務局(健康福祉課 健康推進係・☎8610210)

あゆかい保育園

おや「夏まつり」2008

▼いつ 8月30日(土)

▼どこで 鮎貝地区公民館ハートモニタープラザ

▼内容 ○園児向け行事(午前9時~) ○一般公開(午前10時~) ○フリーマーケット

・軽食売店

▼フリーマーケット出店募集

あゆかい保育園の保護者がメンバーに含まれていれば、どなたでも出店できます。子どもの成長が著しい時期は、服、靴、帽子などのサイズが変わったり、おもちゃやビデオの好みもめまぐるしく変わります。そんなとき、フリーマーケットで売ってみてはいかがでしょうか。

■申込・問い合わせ あゆかい保育園(☎8512369)

山形県里親制度推進講演会

▼いつ 8月31日(日)午後1時30分~3時30分

▼どこで 山形市保健センター(霞城セントラル3階)

▼テーマ 「二十歳の里親「瞳」の生き方」

▼講師 尾崎充信さん(連続テレビ小説「瞳」のチーフプロデューサー)

▼参加費 無料

*直接会場にお越しください

▼どこで NDソフトスタジアム山形(天童市)
○「薄皮丸なすとおかひじき」を用いた料理教室

○「薄皮丸なすの収穫体験」

○直江兼続にまつわる講話

○「薄皮丸なすとおかひじき」を用いた料理教室

新鮮な空気や景色の中で、森林散策を通して森の癒やし効果を身近に感じる体験会です。健康づくりやリラクセスの仕方を体験しませんか。

▼いつ 9月13日(土) 午前10時~午後2時

▼どこで 愛宕山公園(荒砥乙)

▼持ち物 弁当、飲み物、雨具

▼参加費 無料

▼締め切り 8月29日(金)

■申込・問い合わせ 置賜総合支庁森林整備課(☎023813519053)

伝統野菜の「親子」収穫体験・料理教室

▼いつ 9月7日(日)午前9時30分~午後2時

▼どこで 米沢市六郷コミュニティセンター

▼内容 ○薄皮丸なすの収穫体験 ○直江兼続にまつわる講話 ○「薄皮丸なすとおかひじき」を用いた料理教室

○薄皮丸なすの収穫体験

○直江兼続にまつわる講話

○「薄皮丸なすとおかひじき」を用いた料理教室

▼定員 8組16人(親子または祖父母孫)

▼参加費 一組1200円(食材費込み)

●募集期間 8月25日(月)~9月4日(木)

■申込・問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課(☎023812616051)

救急フォーラム2008

▼いつ 9月6日(土)午後1時10分~4時30分

▼どこで 高島町文化ホール「まほら」

▼内容 ○基調講演「災害時の救急医療」 ○ミニシンポジウム「認定救急士が感じる現状」 ○AED(自動体外式除細動器)講習

○救急寸劇、救急処置ミニ講習会など

■問い合わせ 置賜保健所 健企画課(☎023812213872)

国際ソロプチミスト長井 認証20周年記念チャリティーゴルフ大会

【ゴルフ大会】

▼いつ 10月8日(水)

○受付 午前7時30分~

白鷹町の文化財を訪ねて

▼いつ 9月26日(金)午前8時15分(集合)~午後3時30分

▼集合場所 役場前

▼見学場所 蚕桑・鮎貝地区(横越館跡、瑞龍院、鮎貝城址、蔵高院即身仏など)

▼講師 平吹利数さん(史談会役員)

▼参加費 2000円(昼食代含む)

*当日お持ちください。

○スタート 午前8時

▼どこで 山形南カントリークラブ(川西町)

▼募集人数 120人(30パーティー)

▼参加費 3000円(申し込み時)

*プレー費は各自負担です。

【表彰式・懇親会】

▼いつ 10月8日(水) 午後6時

▼どこで タスパークホテル

▼会費 3000円(申し込み時)

▼締め切り 9月5日(金)

▼申込・問い合わせ 国際ソロプチミスト長井/鈴木富美子(☎84-5436)



町営住宅(柏原住宅2号棟)の入居者募集

▼所在地 白鷹町大字箕和田1136-193

▼募集戸数 一般用1戸(木造平屋・一戸建)

▼間取り 3DK(8+8+6畳+台所+浴室)

●山形県立やまなみ学園臨時保育士募集
▼採用年月 平成20年10月
▼雇用期間 最長10カ月

▼家賃 月額1万8900円

▼所得額などにより家賃が異なります。

▼敷金 家賃の3カ月分

▼入居資格 住宅困窮者で、入居する世帯の収入が公営住宅法の基準以下で、同居する親族がいるかた

▼入居可能日 9月中旬以降

▼募集期間 8月18日(月)~28日(木)

▼申込方法 建設水道課へご連絡ください。なお、その際に、源泉徴収票などの所得がわかるものをご準備ください。

▼問い合わせ 建設水道課管理係(☎85-6140)

10月からの中央公民館の利用予約について

8月15日(金)より、平成20年度後期分(10月1日から平成21年3月31日)の利用予約を受け付けます。

▼問い合わせ 中央公民館(☎85-6143)

お母さん交流会参加者募集

県母子連では、会員・非会員相互の母子家庭のお母さんたちの交流会を開催します。

▼いつ 9月20日(土) 午前

10時~午後4時30分

▼どこで リナワールド

▼内容 講演、お母さん同士の交流、園内自由行動など

▼対象 母子世帯100世帯

▼参加費用(フリーパス含む) お母さん 1000円

○小学生以下 500円
○中学生 1500円
▼申込方法 県母子連に電話でご連絡ください。
▼募集期間 8月15日(金)から受付を開始し、定員になりしだい締め切ります。
▼問い合わせ 山形県母子寡婦福祉連合会事務局(☎023-633-0962)



コイヘルペスにかかわる規制措置について

今年もコイヘルペスウイルス病に関するコイの移動禁止などの規制措置が指示されました。期間中、指定された水域では、コイの持ち出しや放流などを行わないでください。

▼期間 平成20年4月1日

1人 ▼職務内容 知的障がい児の生活支援、療育指導

平成21年3月31日

▼指定された水域 最上川とその支流

▼注意事項

①捕獲したコイをほかに持ち出したり、その場所以外に放流しないでください。

②飼育しているコイを川や別の池などに放流しないでください。

③死んだコイや調理したあとのコイの残さいは、川や池などに捨てずに一般廃棄物として処理してください。

④川や池などでコイの大量死や異常が見られた場合には、役場産業振興課へご連絡ください。

▼問い合わせ 産業振興課(☎85-6127)

腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

毎年6月から9月にかけて、腸管出血性大腸菌感染症(O157、O111、O26など)が多発します。この病原菌は牛、羊、鹿などの大腸に生息し、肉や排泄物に汚染された水などを飲食することで感染します。

▼主な症状 頻回の水様便で、激しい腹痛をともない血便と

なることもあります。

*重症の合併症を発症するかもありますので、注意が必要です。

*症状は感染から3~8日後に現れますが、症状の出ない人もいます。

▼予防のポイント 手洗い、食品の十分な加熱、調理器具の洗浄・消毒

*降雨の影響で、井戸水にも雑菌が混ざりやすいため注意してください。

▼問い合わせ 置賜地域保健予防課感染症予防担当(☎0238-22-3002)

Ahresty

平成20年8月
新工場完成予定

更なる業務拡大に向け躍進し続けています

株式会社 **ア-レスティ山形**

お問い合わせ 業務課 (Tel.85-5233)

「富山県7月大雨災害義援金」
「金沢豪雨災害義援金」に「協
力ください」

日本赤十字社では、富山県
7月大雨災害及び金沢豪雨災
害に伴う義援金を受け付けて
います。皆さまのご協力をお
願ひいたします。

なお災害義援金は、税制上
の優遇措置（所得税及び住民
税の寄付金控除、法人税の全
額損金算入）の対象です。

▼受付期間

○「富山県7月大雨災害義援
金」9月30日（火）まで

○「金沢豪雨災害義援金」平
成21年1月30日（金）まで

▼受付場所 日赤白鷹町分
区（健康福祉センター内）

■問い合わせ 事務局（健康
福祉課福祉係／☎86-0111
1）

障がいのあるかたを対象とした
NHK放送受信料の免除基準が
変わります

平成20年10月から受信料の
免除基準が次のとおり変わ
ります。

【全額免除】

○「身体障がい者」「知的障
がい者」「精神障がい者」が世

帯構成員であり、世帯全員
が市町村民税非課税の場合
【半額免除】

○視覚・聴覚障がい者が世帯
主の場合

○重度の障がい者（身体障害
者手帳1級・2級、療育手
帳A、精神障害者保健福祉
手帳1級）が世帯主の場合
※免除の申請は、印鑑と障害
者手帳を持って健康福祉課ま
でお越しください。

■問い合わせ 健康福祉課福
祉係（☎86-0111）

引揚者のかたへのお知らせ

終戦後の混乱期に戦地から
引き揚げてきたかたがたが、
当時国内に持ち込むことがで

きなくて、税関などに預けた
通貨や証券などをお返しして
います。

▼お返しするもの

①終戦後、外地からの引揚者
が上陸地の税関・海運局に預
けた通貨・証券など

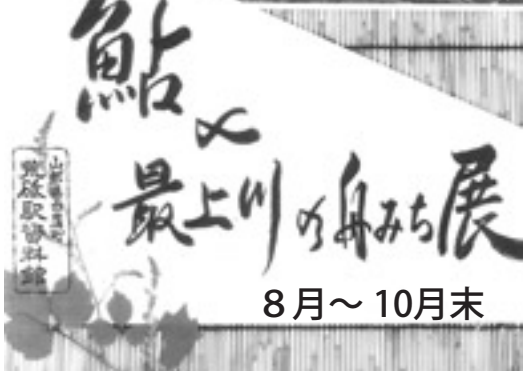
②外地の集結地で総領事館な
どに預けた証券などのうち、
その後日本に返還されたもの

*本人のほか家族のかたも電
話・郵便などで問い合わせ
ることができません。

*預けたかどうか不明の場合
も調査ができることもあります。

■問い合わせ 東京税関酒田
税関支署（☎0234-22-
1024）

荒砥駅前交流施設資料館
模様替えしました



白鷹学講座パート3

民族信仰 草木塔への願い

～草木塔・路傍の石仏・石塔めぐり（十王・鷹山地区編）～
フィールド・ワーク

平成18年度は川西地区をめぐり、ご好評をいた
だきました。今年は川東（十王・鷹山）地区をめぐ
ります。

置賜地区には「草木塔」や「草木供養塔」「材木
供養塔」と刻まれた石碑が60基以上あり、そのう
ち3基が白鷹町に建てられています。これは全国的
に大変珍しく、置賜地区特有の文化で、湯殿山
信仰とのかかわりなどもあるといわれます。

白鷹町には「草木塔」以外の石仏・石塔がたく
さん建立されています。そのなかのいくつかをま
わり、先人たちの祈りに思いをはせ、自然の豊か
さを感じてみませんか。皆さんどうぞご参加くだ
さい。

◆いつ 8月30日（土）（雨天決行）

午前7時～昼12時30分散（予定）
（午前6時50分 中央公民館前集合）

◆講師 江口儀雄さん
（白鷹町史談会会長・白鷹町文化財保護審議会副会長）

◆内容
十王・鷹山地区の草木塔や特色ある石仏・石塔
をめぐります。移動はマイクロバスで、嶽山三十
三観音に登り、昼食をとって解散します。

◆持ち物 歩きやすい服装、昼食（おにぎりなど）、
水筒、帽子、雨具、レジャーシート

◆定員 25人（定員になりしだい締め切ります）

◆参加料 無料

■申込・問い合わせ
教育委員会生涯学習・スポーツ推進係
（☎85-6146）

平成21年度採用

白鷹町立病院職員を募集します

白鷹町立病院は「地域から信頼される病院」を目指し、地域医療の充実と患者サービスの向上に努めています。町の医療を支える意欲に燃える皆さんを募集します。

募集職種と人数	看護師 2～3人
受験資格	昭和48年4月2日以降に生まれ、看護師の免許を有するかた、または、来春の卒業までに取得見込みのかた

◆採用予定年月日 平成21年4月1日

◆1次試験試験日 9月27日(土)

◆試験会場 白鷹町立病院1階研修室

◆試験内容 1次試験 小論文

2次試験 面接試験(1次試験合格者対象)

◆書類提出 ①白鷹町立病院職員採用試験受検申込書

②写真(横3センチ×縦4センチ、無帽、上半身、正面の写真で、3カ月以内に撮影したもの)

◆受付期間 8月12日(火)～9月12日(金)まで

※応募は郵送でも受け付けます。(9月12日の消印有効)

◆応募先 〒992-0831

山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲501

白鷹町立病院事務局 採用試験係

■問い合わせ 白鷹町立病院事務局 (☎85-2155)

ホームページ (http://www.hospital.shirataki.yamagata.jp/)

町有不動産の売却

町が所有する遊休資産を売却します。

【売却物件】

▼地番 白鷹町大字萩野字松保1647-1 (元萩野小学校プール跡地)

▼地目 学校用地

▼地積 1149㎡

(公簿上の地積)

▼最低売却価格

57万4500円

【説明会】

▼いつ 8月22日(金)

▼どこで 午後1時30分

▼どこで 白鷹町役場2階会議室

【入札】

▼いつ 8月29日(金)

▼どこで 午後1時30分

▼どこで 白鷹町役場2階会議室

■問い合わせ 総務政策課生活安全係 (☎85-6122)

活安全係 (☎85-6122)

万が一の有事に備えて...

避難所表示看板を設置しました

白鷹町地域防災計画に定める避難所に表示看板を設置しました。日ごろから町民の皆さんに、災害時の避難所としての認識を持っていただき、そして万が一に備え避難の心構えを持っていただく目的で設置され、看板には「避難の心得」や避難所の一覧が掲載されています。

■問い合わせ

総務政策課生活安全係 (☎85-6122)



●白鷹町地域防災計画に定める避難所

	避難所	電話番号
①	蚕桑小学校	☎85-2249
②	鮎貝小学校	☎85-2030
③	荒砥小学校	☎85-2267
④	鷹山小学校	☎86-0121
⑤	中山小学校	☎87-2303
⑥	東根小学校	☎85-2250
⑦	荒砥高等学校	☎85-2171
⑧	蚕桑地区公民館	☎85-2153
⑨	鮎貝地区公民館	☎85-2342
⑩	荒砥地区公民館	☎85-0260
⑪	鷹山地区公民館	☎87-2502
⑫	東根地区公民館	☎85-2228
⑬	山峡の里交流施設	☎85-6100
⑭	スポーツ公園	☎85-5887

戸籍の窓

●7月1日▶7月31日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(小松) 松田 応行	山口 飯豊町
(梅津) 梅津 智也	荒砥 乙
(柏倉) 柏倉 路子	寒河江 市

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
畔藤	長谷川 孝清	珠斗
畔藤	笹原 智恵	星那
深山	齋藤 吉麻	星奏
荒砥乙	菅間 芳洋	美美
広野	小野 克宏	優美
鮎貝	荒木 智芳	明陽
広野	遠藤 崇貴	瑞正
鮎貝	菅 敏幸	正正
鮎貝	佐藤 敏幸	正正
高玉	今野 正千	正正

おくやみ

住所	氏名	年齢
佐野原	五十嵐 信一	86
荒砥甲	鈴木 政人	85
深山	小林 昭五	78
荒砥乙	鈴木 政次	76
畔藤	高橋 惣一	74
鮎貝	高木 邦雄	82
高野	岡長 市藏	83
鮎貝	後藤 栄市	91
滝野	安達 シチ	77
荒砥甲	清野 幸子	76
荒砥甲	志田 とも	88
十荒砥	王松 本	77
畔藤	藤小 林	96
畔藤	藤小 菅	81
鮎貝	上田 昭夫	73
鮎貝	石川 六郎	77
荒砥甲	寒河江 是	95
鮎貝	高木 是	94
荒砥甲	井澤 トシ	88
十王	平 とも	89
		84

真夏が訪れ、暑い日の連続である。そのさなか、他市町のかたがたと一緒に、本町の最上川フットパスや荒砥地区の「まち歩き」に参加する機会があった。

一つは、朝日・大江・白鷹3町の広域連携事業である「世界遺産を目指す「最上川の文化的景観」の五百川峡谷の歩き発見」である。五百川峡谷の白鷹コースには、約90名が参加。当日の3、4日前までは雨がなく、流水も極めて少なく、最上川の岩盤やいわゆる「舟道」もくつきりとその姿を現していた。最上川でも最大の急流地である五百川峡谷。洗濯板の模様のような特徴的な岩盤の姿と、それを貫く形で走る舟道、その中を滔々と、しかしどこかやわらかく流れる水の塊。言ってみれば、自然と人の手による美しい巧みな配置を明確に示すとともに、江戸の昔において、産業・文化・人の交流を切り拓くため、多くの困難に立ち向かってきたで

あろう人びとの姿を、現在の我々の心に想像させるのに充分すぎるものであった。しかし、このたびの歩き発見の当日は、ここ2、3日の雨のため水かさが増し、ほとんど見ることができない。初めて訪れた人には誠に残念である。最上川五百川峡谷は年中を通せば、この原形はむしろ見えない場合が多い。その

町長随想

80

『地域を知る』

ときに訪れる人びとに対し、どのようにすれば原形を感じ取っていたか、課題となる。そして、黒滝橋から上流は景観が一変し、広い野を流れ下って峡谷に集中する。しかも黒滝は江戸の昔、歴史的な大工が行われている。この古き原形はどうなっていたのだろうか。訪れる人びとは、今の景観から読み

取れない。彼らは思索の世界に入らざるを得ない。見ることでできない事実をいかにしたら理解させられるか工夫が求められよう。

もう一つは、今年で5回目となるしらたかの音楽映画塾での「小室等さんとの歴史探訪」である。総勢約30名。パワーセンターから出発して町内の古くか

方向をちよつと変えれば白鷹山、西山連山、東山がほとんど見える。

小路や通りを巡るなかで、土蔵や昭和初期のかやぶきの家、うこぎの垣根など、まだまだ古い時代の情景が残っていると感ずる。お店に立ち寄り交流し、八幡様（八乙女八幡）の境内で小室さんの音楽に聴き入る。豊かな時間である。そして身近なところでも、歩いてみると結構再認識でき、新たな発見があるものである。

白鷹町。それぞれの地域が長い歴史とその中での変化を経ている。変化しつつある環境の中で、人は成長を続ける。お互い自らの住む地域について再認識し、その特徴を引き出し、地域の未来について共に考えていきたいものである。

橋本光記

▼7月31日、さくらバスは最後の運行を終えた。——同僚と荒砥車庫前から乗車し、パレス松風へと向かう。自動ドアの開く音、つり革の揺れる姿、「次は：」と停留所を告げる音声：すべてが最後の出来事。夕日がさくらバスを照らし、より鮮やかな桜色を放っていたに違いない。1メートル、1秒をみしめながら、大平山の上り坂を上る。終点に近づく運転手さんは「さくらバス、これが最後の運行です。これまで本当にありがとうございました」とラストアナウンス。「ありがとうございました」と心の中でつぶやき、拍手を送った。

▼最後の運行時、運転手さんの傍らには、白ゆりの大きな花束がありました。いつも乗ってくれていたおばあちゃんから、感謝の気持ちを込めて贈られたものだったこと。地域の皆さんに愛されて、12年間走り続けたさくらバス。

ありがとう (つめこ)



広報しらたかは再生紙を使用しています。